

## 委員会評価報告書

事業名	国際交流促進事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p><b>【評価説明】</b></p> <p>本事業は、世界の人々と教育、文化、産業等の多様な交流を通じて、市民の国際理解や国際感覚を高めるとともに、世界に開かれた快適で魅力ある地域づくりを行う目的で、行政による国際交流員を軸とした事業と豊後大野市国際交流協会への運営補助金交付による民間主導での草の根交流の事業との両輪で行われている。</p> <p>現状としては、東日本大震災以来、原発事故等により一部の交流は途絶えているものの、継続している事業については、長年継続してきた結果、その交流は熟成されつつある。</p> <p>また、市民の、特にこれから将来を担う子供たちにとって必要不可欠な事業であり、この事業の性質上、途切れることなく実施することが肝要であり、その流れを止めることは適切ではなく、むしろ加速させていくべきものであるから、行政が主体となり、そこに民間の力添えをいただきながら力強く推進することが将来的にも継続する事業だと考える。</p> <p>一方、参加者の固定化や事業そのものの硬直化、参加人数の伸び悩みなどの問題も一部で見受けられる。</p> <p>今後については、厳しい財政状況の下にあるため、関係部署との効率的連携によって事業を行うなどの配慮も必要で、近隣国だけにとどまらず、英語圏を含む国々との交流や APU 立命館アジア太平洋大学との交流事業などを積極的に取り入れることで選択範囲を広げ、より多くの市民の参加を促すことができると考える。</p> <p>更に、子どもたちを対象とする事業については、多様な文化に接する機会を増やすことは、将来につながる重要な投資であるので、官民連携の下、今後も特に強力で押し進めることを求める。</p>		